

2019年4月17日

報道関係各位

一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会

複業・兼業時代に『丸の内』と『外』で自由に働く人を応援！ 丸の内朝大学 ニッポン就職課を設立

東京で働きながらも、地域の仕事にも関わりたい人々と地域企業やサービスを繋ぐ 第1弾講座「瀬戸内ワークス編」を4月23日（火）よりスタート

大手町・丸の内・有楽町地区街づくり3団体(*)の一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会(以下、エコツェリア協会)は、丸の内朝大学の新たな試みとして『丸の内』と『外』で自由に働く人を応援する「丸の内朝大学 ニッポン就職課」を設立し、第1弾講座として「瀬戸内ワークス編」を4月23日（火）よりスタートいたします。



第1弾講座「瀬戸内ワークス編」イメージ



丸の内朝大学は、2009年にスタートし、この10年で多くのワーカーに支持され、「朝」「丸の内」で「学ぶ」という朝活のムーブメントは、コミュニティの力で社会課題を解決するという考えに発展してきました。近年、東京の大企業では、複業・兼業の容認化という働き方の大きな変化が生まれ、ビジネスマインドとソーシャルマインドの双方の意識が高い、ハイブリッドなワーカー人材が求められています。一方、地域企業では、次世代の担い手不足や人材育成に悩みを抱えており、いかに域外へ地元の魅力を伝えるか、その発信力に課題がある状況です。

そこで、丸の内朝大学は、都市部で働く多彩なバックグラウンドを持つ受講生のコミュニティのほか、10年の歴史の中で深めてきた、100近くの自治体や地域とのつながりを基盤に、都市と地域の課題を解決する新たなプロジェクト「丸の内朝大学 ニッポン就職課」をスタートいたします。本プロジェクトにより、都市の多様な人材の流動化および地域の関係人口の増大を図ります。

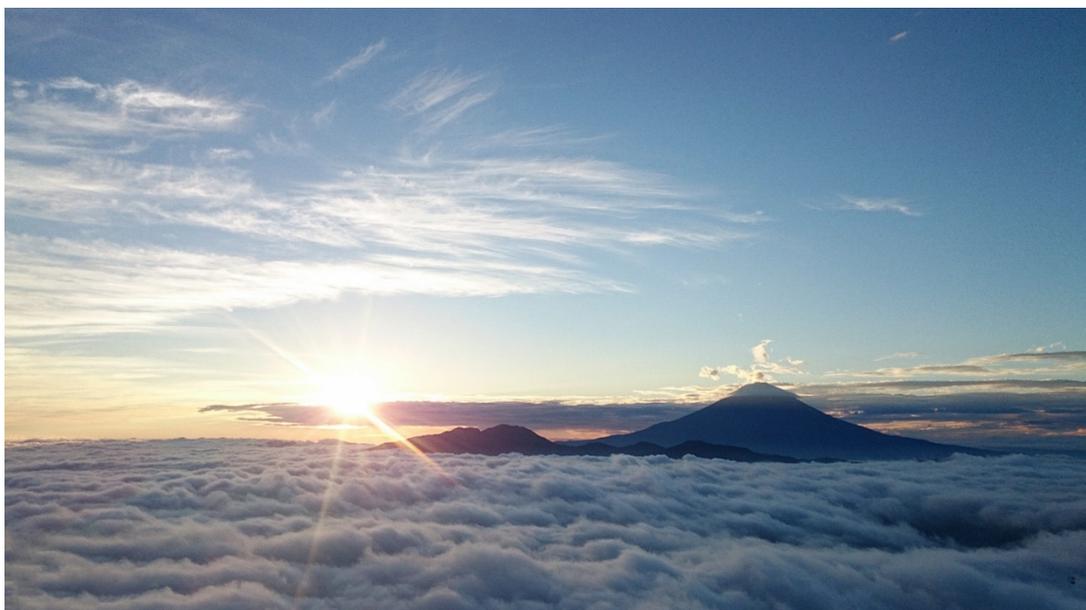
プロジェクト全体のコーディネーターは、株式会社 umari 代表の古田秘馬氏、そして第1弾講座では古田氏に加えて、UDON HOUSE 代表の原田佳南子氏をナビゲーターに迎え、ナショナルジオグラフィックの「2019年世界で行くべき場所」で1位にも選ばれている瀬戸内を舞台に、瀬戸内海に面した香川の庄内半島エリア（香川県 三豊市）を目的地とした「瀬戸内ワークス編」を4月23日（火）より全5回にわけて実施いたします。丸の内朝大学では、三豊市にて2016年秋から2年間「瀬戸内うどん留学クラス」を実施し、魅力的な地域資源や地元の方々とのふれあいによる、観光では味わえない地域密着型の体験を提供してまいりました。そして、今回の「瀬戸内ワークス編」では、最終回の6月1日（土）～2日（日）にて現地でのフィールドワークを実施いたします。

本クラスを通して、瀬戸内ののんびりとした時間で日常を過ごしながら、地域の仕事にいきいきと取り組む方々の姿に触れることで、今後日本の各地域とどのように関わって働くことができるのか、その準備をレクチャーします。

丸の内朝大学 ニッポン就職課の詳細については次頁をご参照ください。

(*) 「一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（大丸有協議会）、NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会（リガール）一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツェリア）」の3団体は連携して大丸有地区のまちづくりを推進しています。

**丸の内朝大学
ニッポン就職課
丸の内から、ニッポンへ。
丸の内と外で自由に働く人を応援する就職課を作ります！**



丸の内朝大学 ニッポン就職課 第1弾

タイトル：瀬戸内ワークス編～瀬戸内の豊かな自然の中で遊ぶように暮す～

ナビゲーター：古田秘馬氏、原田佳南子氏

日程：全5回 4月23日(火) / 5月14日(火) / 5月21日(火) / 5月28日(火) / 6月1日(土)～6月2日(日) ※第5回は現地にてフィールドワークとなります。

実施時間：7時15分～8時15分

場所：大手門タワー・JXビル 1F「3×3 Lab Future サロン」

金額：23,350円(税込)

定員：33名

内容：ニッポン就職課第1弾のクラス。ナショナルジオグラフィックの2019年世界で行くべき場所で1位にも選ばれている瀬戸内。温暖な気候と、豊かな自然、豊富な食材。瀬戸内国際芸術祭をはじめ、様々な文化の企画も地域で生まれているこの瀬戸内海に面した香川の庄内半島エリアを、第1弾の丸の内朝大学のニッポン就職課の目的地に。瀬戸内ののんびりとした時間で日常を過ごしながらも、全国が注目する面白い取り組みの仕事に皆さんならどのようにかかわって働いていけるのか？この就職課のクラスではニッポンの各地域で朝大学生が働くためのステップとしてクラスを通して地域に行く準備を行います。

プログラム詳細について

①4月23日(火) オリエンテーション ～地域で働くために～

地域と都市を行き来しながら働くという意味や働き方、マインドセットから、今回の受け入れエリアの概要や産業の特性、課題などの事前情報をしっかりと整理。

②5月14日(火) 地域企業紹介パート①

③5月21日(火) 地域企業紹介パート②

④5月28日(火) 地域企業紹介パート③

今回の受け入れ地域である香川県三豊市周辺の企業の経営者を講師に招き、各企業が持つ課題、求めている人材、地域で生み出したい価値などを紹介。

⑤6月1日(土)～6月2日(日)【フィールドワーク】瀬戸内ワークス

実際に瀬戸内の香川県三豊エリアを訪れ、事前を選択した地域企業の活動内容や自分が関わる場合の領域の確認。各日それぞれ一企業ずつ合計2企業に関わる。その他、地域のキーマンたちとの懇談会なども実施予定。当日は、高松空港集合(6/1(土)9:30)・高松空港解散(6/2(日)18:00)予定。

※現地までの交通費、宿泊費、飲食費、移動費等は学費に含まれていません。

※雨天決行。荒天の場合は中止となります。予備日は、6/22(土)～6/23(日)を予定。

ナビゲーター

古田 秘馬 氏

プロジェクトデザイナー

株式会社 umari 代表。東京・丸の内「丸の内朝大学」などの数多くの地域プロデュース・企業ブランディングなどを手がける。農業実験レストラン「六本木農園」や和食を世界に繋げる「Peace Kitchen プロジェクト」など都市と地域、日本と海外を繋ぐ仕組みづくりを行う。現在は地域や社会的変革の起業に投資をしたり、レストランバスなどを手掛ける高速バス WILLER 株式会社の取締役やクラウドファンディングサービス CAMPFIRE の顧問などを兼任。



原田 佳南子 氏

UDON HOUSE 代表

楽天トラベル在籍中、全国約30の都道府県を駆け巡り地域活性に携わる。地域には、魅力的な資源はあるものの、外の人に伝わるコンテンツやそれを創り上げる人が少ないことに気付く。地域でビジネスを立ち上げたい思いで、2017年に独立。2018年UDON HOUSE開業。



丸の内朝大学について

朝7時台から開講する市民大学として、2009年にスタート。

のべ20,000人以上のビジネスパーソンを朝をデザインし、社会課題の解決を目指した自主的なソーシャルプロジェクトへ発展してきました。行政や企業のほか、様々な人との関係を築き、日本中の多くの地域と交流しながら、豊かに暮らすきっかけの場を提供します。

【エコツェリア協会について】

2007年設立。エコツェリア協会では、会社でも自宅でもない第3の場所「3×3Lab Future」を拠点として、「経済」「環境」「社会」をテーマに大手町・丸の内・有楽町エリアのまちづくりを推進しています。エリアに集う企業・就業者のコミュニティ形成や、次世代の持続可能な社会の実現に向けて、未来につなぐ持続可能なビジネス創発に取り組んでいます。



3×3Lab Future

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

大手町・丸の内・有楽町地区街づくりPR事務局 共同ピーアール(株) PRアカウント本部9部 担当：前山・高橋

TEL：03-3571-5238 FAX：03-3571-5259

E-mail：tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp